

介護職員初任者研修カリキュラム及び日程表

研修期間 10月 19日～ 2月 22日

項目	通学日時 (時間)	通信 相当分	実施場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法
				[番号] 氏名	要件	
1. 職務の理解				【基準時間 6 時間 (うち通信上限 0 時間)】		
多様なサービスの理解	10月19日(日) 10:00 ～17:00 (6時間)	0 時間	熊本流通情報会館 20名	1. 山平 美保	エ・サ	介護保険や保険外サービスについて講義を行い、身近なサービスを含め理解を深める(講義・演習)
介護職の仕事内容や働く現場の理解		0 時間				視聴覚教材にて実際の現場を出来るだけ具体的にイメージできるようにする(講義・演習)
小 計	6 時間	0 時間				
2. 介護における尊厳の保持・自立支援				【基準時間 9 時間 (うち通信上限 7.5 時間)】		
人権と尊厳を支える介護	10月26日(日) 9:00 ～12:00 (3時間)	3 時間	熊本流通情報会館 20名	18. 松川 千春	ア・エ	人権と尊厳について講義を行い、演習にて尊厳を支えるということはどういうことかなどについて理解する(講義・通信)
自立に向けた介護		3 時間	熊本流通情報会館 20名			自立に向けた介護について講義を行い、本当の自立支援というのはどういうものを理解する(講義・通信)
小 計	3 時間	6 時間				
3. 介護の基本				【基準時間 6 時間 (うち通信上限 3 時間)】		
介護職の役割、専門性と多職種との連携	10月26日(日) 13:00 ～16:00 (3時間)	3 時間	熊本流通情報会館 20名	4. 田端 大士	ア・エ	介護職に求められる専門性に気づき、多職種との連携について理解する(講義・通信)
介護職の職業倫理						介護職における職業倫理の必要性に気づき、理解し職務に従事できるよう理解を深める(講義・通信)
介護における安全の確保とリスクマネジメント						職務における事故や感染のリスクとその対応の重要性を理解する(講義・通信)
介護職の安全						介護職において心身の健康管理や事故やストレスにおいて知り、安全の在り方について理解する(講義・通信)
小 計	3 時間	3 時間				
4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携				【基準時間 9 時間 (うち通信上限 7.5 時間)】		
介護保険制度	11月16日(日) 9:30 ～17:00 (6.5時間)	0.5時間	熊本流通情報会館 20名	3. 村上 佳子	ア・エ	介護保険について知り、理解する(講義・通信)
医療との連携とリハビリテーション		1 時間	熊本流通情報会館 20名			2. 稲葉 伸二
障害者自立支援制度及びその他の制度		1 時間		障害者自立支援制度について知り、障害者福祉サービスなどの理解を深める(講義・通信)		
小 計		6.5 時間	2.5時間			

項目	通学日時 (時間)	通信 相当分	実施場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法
				[番号] 氏名	要件	
5. 介護におけるコミュニケーション技術				【基準時間 6 時間 (うち通信上限 3 時間)】		
介護におけるコミュニケーション	11月2日(日) 9:00 ~12:00 (3時間)	3 時間	熊本流通情報会館 20名	5. 三浦 加奈子	ア	利用者に対し共感、受容、傾聴的態度を通しコミュニケーションについて理解を深める(講義・通信)
介護におけるチームのコミュニケーション					ア	記録における情報の共有化、報告によりチームのコミュニケーションを理解する(講義・通信)
小 計	3 時間	3 時間				
6. 老化の理解				【基準時間 6 時間 (うち通信上限 3 時間)】		
老化に伴うこころとからだの変化と日常	11月2日(日) 13:00 ~17:00 (4時間)	1 時間	熊本流通情報会館 20名	7. 丸山 光江	ウ	老化に伴うこころとからだの変化を知り、様々な変化に着目した心理的特徴の理解を深める(講義・通信)
高齢者と健康		1 時間	熊本流通情報会館 20名		ウ	高齢者に多い疾病を知り、症状や訴え、生活上の留意点など理解を深める(講義・通信)
小 計	4 時間	2 時間				
7. 認知症の理解				【基準時間 6 時間 (うち通信上限 3 時間)】		
認知症を取り巻く状況	11月30日(日) 9:00 ~12:00 (3時間)	3 時間	熊本流通情報会館 20名	1. 山平 美保	エ・サ	認知症を取り巻く状況と認知症ケアの理解を深める(講義・通信)
医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理					サ	認知症の理解を深め、原因疾患や病態、ケアのポイントを学ぶ(講義・通信)
認知症に伴うこころとからだの変化と日常					エ・サ	認知症の生活障害、心理、行動の特徴を知り具体的な関わり方の理解を深める(講義・通信)
家族への支援					エ・サ	認知症の家族への支援を理解し、家族のストレスやレスパイトケアなどに理解を深める(講義・通信)
小 計	3 時間	3 時間				
8. 障害の理解				【基準時間 3 時間 (うち通信上限 1.5 時間)】		
障害の基礎的理解	11月30日(日) 13:00 ~16:00 (3時間)	1.5時間	熊本流通情報会館 20名	19. 上野 有実	ア	障害の基礎について学び、障害の概念やICFについて理解を深める(講義・演習)
障害の基礎的理解医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識					ア	障害の医学的側面や各障害の特徴や支援の考え方の理解を深める(講義・通信)
家族の心理、かかわり支援の理解					ア	障害者家族への支援を学び、家族のストレスやレスパイトケアなどの理解を深める(講義・通信)
小 計	3 時間	1.5時間				

項目	通学日時 (時間)	通信 相当分	実施場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法
				[番号] 氏名	要件	
9. こころとからだのしくみと生活支援技術				【基準時間 7 5 時間 (うち通信上限 1 2 時間)】		
I 基本知識の学習				(1 0 ~ 1 3 時間)		
介護の基本的な考え方	11月23日(日) 9:00~12:00 (3時間)	0.5時間	熊本流通情報会館 20名	9. 西田 緑	ア	介護の基本的な考えを学び、ICFや法的根拠に基づく介護を理解する(講義・通信)
介護に関するこころのしくみの基礎的理解	12月7日(日) 9:00 ~17:00 (7時間)	1時間	熊本流通情報会館 20名	6. 萩尾 奈保美	ア	こころのしくみを学び、記憶の構造や意欲を支援に結びつけることの意味を深める(講義・通信)
介護に関するからだのしくみの基礎的理解		1時間			ア	からだのしくみを学び、人体の構造やボディメカニズムの理解を深める(講義・通信)
I 計	10 時間	2.5時間				
II 生活支援技術の講義・演習				(5 0 ~ 5 5 時間)		
生活と家事	2月1日(日) 9:00 ~17:00 (7時間)	1.5時間	熊本流通情報会館 20名	10. 梶原 るり子	ア	家事と生活の理解を行い、機能や基本原理の理解を深める(講義・通信)
快適な居住環境整備と介護		1.5時間			ア	移住環境の基礎知識を理解し、身体状況に合わせた介護や環境整備の理解を深める(講義・通信)
整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	12月14日(日) 9:30~16:30 (6時間)	0 時間	熊本流通情報会館 20名	11. 大石 真紀	ア	整容の意義を理解し、実技演習にて着脱介助の理解を深める(講義・演習・通信)
移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	12月21日(日) 9:30~16:30 (6時間)	0 時間	熊本流通情報会館 20名	12. 佐藤 仁俊	カ	移動・移乗に関する体の仕組みを理解し、実技演習にて移乗・移動介助の理解を深める(講義・演習・通信)
食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	1月11日(日) 9:30~16:30 (6時間)	0 時間	熊本流通情報会館 20名	13. 平田 景子	ア	食事の意味や環境整備の方法を理解し、実技演習にて食事介助の理解を深める(講義・演習・通信)
入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	1月18日(日) 9:30~16:30 (6時間)	0 時間	熊本流通情報会館 20名	14. 服部 知之	ア	入浴や清潔の意味や環境整備の方法を知り、実技演習にて全身清拭や部分浴の理解を深める(講義・演習・通信)
排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	12月28日(日) 9:30~16:30 (6時間)	0 時間	熊本流通情報会館 20名	15. 村上 祐子	ア	排泄の意味や環境整備の方法を理解し、実技演習にて排泄の方法等の理解を深める(講義・演習・通信)
睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	1月25日(日) 9:30~16:30 (6時間)	0 時間	熊本流通情報会館 20名	16. 甲斐 光広	ア	睡眠や体位交換の意味や環境整備の方法を知り、実技にてベッドメイキングや体位交換の理解を深める(講義・演習)
死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護	11月23日(日) 13:00~16:30 (3.5時間)	2 時間	熊本流通情報会館 20名	6. 萩尾 奈保美	ア	ターミナルケアの考え方や留意点を知り、実技演習にて対応方法や介護職の役割の理解を深める(講義・演習)
II 計	46.5 時間	5 時間				
III 生活支援技術演習				(1 0 ~ 1 2 時間)		
介護過程の基礎的理解	2月8日(日) 9:00 ~17:00 (7時間)	2 時間	熊本流通情報会館 20名	17. 立岡 発美	ア	介護過程の目的や意義を理解し、個別援助計画の作成を演習にて展開の理解を深める(講義・演習・通信)
総合生活支援技術演習		2 時間			ア	事例の意義や留意点を理解し、事例に基づき討議をし理解を深める(講義・演習・通信)
III 計	7 時間	4 時間				
小 計	63.5 時間	11.5時間				

項目	通学日時 (時間)	通信 相当分	実施場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法	
				[番号] 氏名	要件		
10. 振り返り				【基準時間 4 時間 (うち通信上限 0 時間)】			
振り返り	2月22日(日) 9:00	0 時間	熊本流通情 報会館 20名	1. 山平 美保	エ ・ サ	研修での学びを振り返り、今後 継続して学べきことなどを理解 する。(講義・演習)	
就業への備えと研修終 了後における継続的な 研修	～14:00 (4時間)	0 時間				エ ・ サ	働く現場にて継続的学習の必要 性を理解し、キャリアパスや OJTなどの理解を深める(講義・ 演習)
小 計	4 時間	0 時間					
合 計	99 時間	31.5時間					

修了評価							【基準時間 1 時間以上】
項目	通学日時 (時間)	通信 相当分	実施場所 人数等	担当講師		実施内容及び実施方法	
				[番号] 氏名	要件		
修了評価	2月22日(日) 14:00 ～16:00		熊本流通情 報会館 20名	6. 萩尾 奈保美	ア	全てのカリキュラムを終了し、 評価試験を実施する。評価試験 は記述式と択一式により構成。 70点以上が合格	

注1 「項目」欄には、各科目を細分化した項目名又はその読み替えにより事業者毎に定める項目名を記載する。項目数が多く、欄が足りないときは、適宜追加して記載する。

注2 講義を通信の方法で行う場合、「通信相当分」欄に、通信で学習する内容に相当する講義時間数(科目毎に別紙4に定める時間数を上限とする)を記載する。

注3 「担当講師」の「番号」及び「要件」欄には、講師一覧表(別紙様式5)に記載した「番号」及び「講師要件」を転記する。

注4 「実施内容及び実施方法」欄には、講義及び演習の具体的進め方や時間、実習を行う場合は実習の内容や時間、方法等を記載する。欄内に記載できない場合は、科目毎に別葉に記載する。

注5 記入欄が不足する場合は、適宜欄を追加し、本様式に準じた様式で記入する。